

高山祭

高山祭は年に 2 回開催され、華麗な装飾が施された屋台は数万人もの来場者を魅了する。最初に行われる山王祭は 4 月 14 日、15 日に、その後の八幡祭は 10 月 9 日、10 日に開催している。

山王祭は、高山の歴史的な旧市街の南に位置する日枝神社の神々を祀り、八幡祭は北東に位置する桜山八幡宮の神々を祀る。祭りでは、伝統的な衣装を身にまとった町民と獅子舞の踊り手が町を練り歩き、屋台はそれぞれの神社の前へと移動する。初日の夜には、数百個の提灯で飾られた屋台が旧市街の通りを練り歩く。祭りの参加者は地域によって分かれている。安川通りの北側は八幡祭、南側は山王祭に参加する。

高山祭の最古の記録は、1692 年の文書で、その年よりさらに 40 年ほど前に行われた山王祭について記したものである。高山祭を今日これほどまで有名なものにした屋台への言及は、1718 年の八幡祭で初めて確認できる。